

平成25年7月23日
県土整備部河川課

報道関係者各位

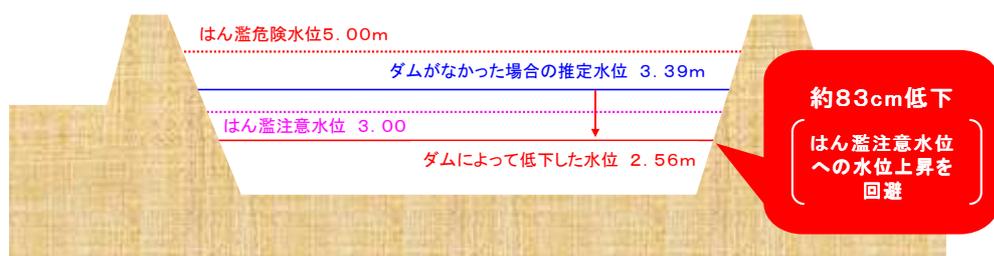
荒沢ダム（鶴岡市・県管理）において防災操作（洪水調節）を実施 洪水時の赤川の水位を下げる効果を発揮しました

県内では7月8日以降、記録的な豪雨に繰り返し見舞われていますが、一級河川赤川にある県が管理する荒沢ダム（鶴岡市荒沢）では、22日、洪水による流入量が毎秒360m³に達したことから、河川水位の急激な上昇を防ぐ防災操作（洪水調節）を行い、ダムに流入する洪水を毎秒最大770m³から毎秒204m³に低減し、下流の熊出水位観測所（鶴岡市熊出地内）において、水位を約83cm低下させました。

7月8日以降、荒沢ダムでは5回の防災操作（洪水調節）を行い、その間貯留した洪水の量は約775万m³になりました。これは約7.8km²の土地が1m浸水する洪水の量（東京ドーム約6.3個分）に相当します。

※ 東京ドーム体積：124万m³

熊出水位観測所状況（鶴岡市熊出地内）



（用語の説明）

- ・ はん濫危険水位（計画高水位）
洪水により、相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こる恐れがある水位
- ・ はん濫注意水位
水害の発生に備えて、水防団が出動する目安になる水位

（問い合わせ先）

県土整備部河川課
課長補佐 竹内晃 TEL 023-630-2686
庄内総合支庁建設部荒沢ダム管理課
課長 多田信之 TEL 0235-55-2021
報道監
県土整備部次長 相田信 TEL023-630-2601